

一条戻橋いちじょうもどりばし

やましるのもどり橋を

家集

いづくにも帰るさまのみ渡ればやもどり橋とは人のいふらん

和泉式部

婚礼の輿入、この橋を通るを嫌ふは、橋の名によりてなり。又旅立、人にものを貸時通るは、これに反すとやいふべき